

おらほの病院

111

～あたたかな医療をめざして～

諏訪中央病院 リレーコラム

電子処方箋

始まっています

電子処方箋という言葉を目にしたことはあっても、実際にどんな仕組みで、どんなメリットがあるのか、よくわからない人も多いのではないだろうか。

電子処方箋は、これまで紙で発行していた処方箋を電子化したものです。諏訪中央病院では2024年12月に電子処方箋の導入を行いました。今回は、電子処方箋のメリットや利用時の注意点を解説します。

●お薬の情報が正確に確認でき、安心・安全な医療が受けられる

今までは、患者さんが服用しているお薬の情報は、実際に処方・調剤した医療機関・薬局か、患者さん自身（お薬手帳）からしか得られませんでした。しかし、電子処方箋に対応している医療機関・薬局では、患者さんの同意のもと、電子処

諏訪中央病院

薬剤師 百瀬 公博

もも せ きみ ひろ



百瀬 公博
(ももせ・きみひろ)
原村出身 薬剤師
2009年 諏訪中央
病院入職
2025年 日病薬病
院薬学認定薬剤師取得

方箋管理サービスに登録されたお薬の情報を共有できるため、他の医療機関・薬局のお薬の情報を正確に把握できるようになります。これにより、

お薬の飲み合わせや、同じ効果を持つお薬の重複投与などを容易に確認できます。また、引越しや転勤、旅行などいつでも違う地域の医療機関を受診した場合や災害時でも、電子処方箋を利用することで、これまでのお薬の情報を正確に確認できます。

●訪問医療サービスの負担軽減
訪問診療を利用した場合、紙の処方箋では病院に取りに行く必要があります。

●電子処方箋であれば、病院に処方箋を取りに行く必要がなくなります。さらにオンライン服薬指導やお薬の配送サービスなどど組み合わせることで、自宅にいながらお薬を受け取ることも可能です。

●紛失リスクの軽減
電子処方箋は電子的に処方箋

の情報が登録されるので、紙の処方箋のように紛失することがありません。

●電子処方箋に対応している医療機関・薬局でなければ利用できない

電子処方箋はすべての医療機関・薬局で利用ができるわけではありません。対応している施設のみ利用ができます。かかりつけの薬局が電子処方箋に対応していない場合、紙の処方箋が必要になるため、電子処方箋を利用する場合は事前に確認をしましょう。厚生労働省のウェブサイトで電子処方箋対応の医療機関・薬局が公開されています。

●電子処方箋の利用には引換番号が必要
諏訪中央病院では電子処方箋を利用すると、従来の紙の処

方箋の代わりに引換番号が記載された「処方内容(控え)」をお渡しします。薬局ではこの引換番号をもとに電子処方箋の情報を取得するため、「処方内容(控え)」を提出してください。なお、マイナンバーカードを利用している場合は、受付でカードを読み取るだけでよいので、「処方内容(控え)」を提出する必要がなくなり、とても便利です。

未だ、日本では電子処方箋の利用は少なく一般的ではありません。しかし、アメリカでは電子処方箋の普及率は90%以上と高く、医療の効率化、安全性の向上に寄与しています。そう遠くない未来に電子処方箋が当たり前の時代になると思います。

次回は1月11日掲載予定
(題字は鎌田實名誉院長)